

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	和泉市立総合医療センター別館増築	階数	地上8F地下0F
建設地	大阪府和泉市寺門町、桑原町、観音	構造	S造
用途地域	第1種中高層住専地域、第1種住居	平均居住人員	355人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2024年2月14日
敷地面積	2,425 m ²	作成者	株式会社内藤建築事務所大阪事務所浪江明
建築面積	1,317 m ²	確認日	2024年2月29日
延床面積	7,308 m ²	確認者	株式会社内藤建築事務所大阪事務所浪江明弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物全体の熱負荷を抑えた外皮計画やリサイクル材を採用し、環境負荷を低く抑えらえる建築物となるように配慮した。		特になし。
Q1 室内環境 ホルムアルデヒドの放散量が少ない建材の採用し、空気質環境を高めている。	Q2 サービス性能 配管部材は、耐用年数の長いものを採用し、維持管理に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に可能な限り緑化を設け、アメニティに配慮している。
LR1 エネルギー 外皮性能の向上を図るとともに、高効率のLED照明などを採用することで、エネルギー消費の低減に努めている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を積極的に使用するなど資源保護に努めている。	LR3 敷地外環境 建設に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	和泉市立総合医療センター別館増築・本館改修工事					
	建設地	和泉市寺門町、桑原町、観音寺町、和気町					
	用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					2	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.9	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.4	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		